

令和 2 年度岩美中学校（生活指導部）部 1 学期マネジメント

理想とする生徒像				年 間 目 標	① 基本的生活習慣の構築		
自己決定し、責任を持って行動でき、自らの生活を自らコントロールできる生徒					② 自己肯定感の向上と家庭との連携強化		
				③ 次年度に向けて、目標とする姿を見据えた生活設計と実践			
目標 番号	1学期に目標を達成するための活動	活動内容	責任者	4月	5月	6月	7月
①	生活習慣の構築 ・欠席がほとんどなく学校に登校してくる。 ・挨拶、服装、提出物、給食、掃除など正しい学校生活のリズムを作っていく。	○専門委員会の呼びかけ。 ○フォーサイトの記述 →レベルアップ →生活リズム、生活習慣を構築する。	坂田 + 各委員会担当	各専門委員会で仕事の確認、呼びかけ、活動内容の実施 フォーサイトの書き方指導。 （各学年、学級担任） フォーサイト強化週間？			
①	睡眠時間の確保，メディアの使用時間の削減及び家庭学習時間の確保を目的としたフォーサイトの有効活用	生活リズム定着強化週間の設定（フォーサイトの記述の活用） ＜生活振り返りアンケート＞ ○睡眠時間 7時間以上 [65%] ○メディア使用時間2時間以内 [65%]	丸田	強化週間（睡眠時間） 強化週間（家庭学習時間 メディア使用時間）			
②	“もうひと手間”の実践 自己肯定感の向上（受容と愛情） ＜Q－U＞みんなのためになることを自分で見つけて実行している。回答4 [40%]→（i-checkの自己肯定感項目）	“いいところ見つけ”の実践→発信	坂田	いいところ見つけの記入 発信（たより等）			
②	教師サイドが、生徒による「企画→実践・発信→振り返り活動」の活動の支援し、その活性化に努める。 ＜生活振り返りアンケートor生徒質問紙＞ （昨年度新規）委員会や係活動において、自分たちで考えた取り組みに、積極的に取り組んだ。 [60%]	1委員会1企画の実践	各担当	第1回専門委員会 企画・立案 4/15 実践 振り返り			
① ②	生徒と寄り添う時間の確保 ＜生徒質問紙＞ 1学期末 ○困ったことを、相談したり分からないことを教えてもらえる先生がいる。 [85%] ○友だちや先生から大切にされていると感じる。 [85%]	* 昼休憩時 学級担任→13：20まで教室で 生徒と共に 担任外 →校内巡視のポイントの徹底	居組	継続実践			
		＜Q－U＞→（i-checkの友達の支え、先生の支え） ○学校内に悩みを相談できる先生がいる。 肯定的回答5・4 [65%] ○学校内で気軽によく話ができる先生がいる。 肯定的回答5・4 [65%]					

平成31年度岩美中学校（ ）部 2学期マネジメント（案）

理想とする生徒像	年 間 目 標	①
		②
		③

目標 番号	1学期に目標を達成するための活動	活動内容	責任者	8月・9月	10月	11月	12月

平成31年度岩美中学校（ ）部 3学期マネジメント（案）

理想とする生徒像	年 間 目 標	①	
		②	
		③	

目標 番号	1学期に目標を達成するための活動	活動内容	責任者	1月	2月	3月	新年度 4月